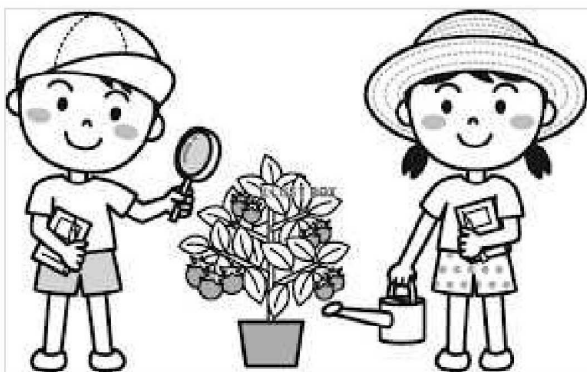


夏休みおすすめブックリスト

中学校版

2017年テーマ：いろいろなジャンルの本に挑戦しよう！



この夏は、何冊の本と出会えるでしょうか？夏休みの貸出は、1人5冊です。ふだん読めない長編や夏に読んでおきたい物語・小説を紹介していますので、夏にぴったりの熱い本の世界を楽しんでください！「読書の旅、羅針盤」も本探しに活用して下さいね！

～開館日のお知らせ～

開館日 7月21日(金)～31日(月)

8月1日(火)・21日(月)～30日(水)

開館時間 平日：午前9時～午後2時

土曜：午前9時～正午 / 日曜：閉館

—昭和学院中学・高校図書館—

(*のマークは、★:読みやすい、☆:おすすめ、◎:読みごたえあり)

中学

No.	NDC	書名	著者名	出版社	出版年
*		おすすめコメント			
1	289	大村智ものがたり 苦しい道こそ楽しい人生	馬場 錬成	毎日新聞出版	2015
☆	オ	ノーベル生物学・医学賞を受賞した木村智さんは、自然が大好きな子どもだった。研究者になってからは、いつも小さな袋を持ち歩き、様々な場所の土を採取しては実験をしていたという。人のまねはせず、努力し続けることが大切だということを大村さんは経験から語る。			
2	289	女王陛下の外交官アーネスト・サトウ	古川 薫	小峰書店	2005
★	サ	イギリス人のアーネスト・サトウは少年の頃、本で日本を知り、外交官として日本へ行くことを志をたてた。自由に日本語を話し、日本のあちこちを旅行し、ガイドブックも書いた。幕末の動乱期、維新の英雄たちと交わり、武田久吉を遺した。			
3	454	東京「スリバチ」地形散歩	皆川 典久	洋泉社	2012
☆	ミ	東京の城西地区は「坂の町」「谷の町」である。坂や谷は、砂礫層の上に関東ローム層を乗せた武蔵野台地を流れる無数の川が作りだした地形で、谷はスリバチ状になり、斜面は断崖となる。海拔10mから40mの凹凸の東京案内。			
4	489	なぜヤギは、車好きなのか？ 鳥取環境大学のヤギの動物行動学	小林 朋道	朝日新聞出版	2012
☆	コ	鳥取環境大学創立の年に設立したヤギ部。1頭だったヤギが5頭に増えたり、悲しい別れがあったりしながらも、野生の特性を色濃く残した対象としてヤギを観察しつづけた。その11年間のエピソードをまとめたエッセイ風な記録である。			
5	523	東京駅をつくった男 日本の近代建築を切り開いた辰野金吾	大塚 菜生	くもん出版	2014
★	オ	江戸時代の末期に生まれ、明治、大正時代を生きた建築家の辰野金吾。代表的な東京駅をはじめ、日本銀行や地方の銀行など全国に20以上の建築物が100年のときを超えて残っている。日本で最初の「建築家」と呼ばれた人の生涯について描く。			
6	683	たいせつなことは船が教えてくれる	藤沢 優月	金の星社	2012
☆	フ	「ORPHUS(オルフェウス)」とは、長さ336メートル、高さ61メートルの巨大コンテナ船だ。日本、アジア、ヨーロッパを77日間かけてめぐり、人とモノ、ところをつなぐために働いている。この船を通して、社会とは、働くとは、人生とは何かを伝える。			
7	913	車のいろは空のいろ	あまん きみこ	ポプラ社	2000
★	ア	空色の車を町で見かけたら、きっとそれは松井さんのタクシー。手をあげて、車の座席にすわったら、「お客さん、どちらまで？」それが、不思議な旅の始まり。			
8	913	K町の奇妙なおとなたち	斉藤 洋	借成社	2012
★	サ	昭和30年代、東京のはずれにK町があった。そこに生きる市井の人々の悲喜こもごもが、少年の目を通して描かれている。どこか懐かしくも切ない連作短編。			

9	913	ひまわり 沖縄は忘れない、あの日の空を	ひろはた えりこ	汐文社	2012
☆	ヒ	1959年6月30日、沖縄県で米軍ジェット戦闘機が、小学校に炎上しながら激突した。ひまわりを愛する幼い少年の夢も、少女の未来も一瞬のうちに奪われてしまった。今も米軍の基地に耐えている沖縄県民の苦しみを知ってほしい。			
10	913	川の光	松浦 寿輝	中央公論新社	2014
◎	マ	平和な川辺の暮らしは失われた。晩夏、安住の地を求めてネズミー一家の冒険が始まる。足元で脈動する世界に優しいまなざしを向け、柔らかい魂の手触りを伝える物語。			
11	913	王妃の帰還	柚木 麻子	実業之日本社	2015
★	ユ	私立中学校中等部の範子は、仲良しグループで平和に過ごしていた。ところが、クラスのトップから陥落した王妃の滝沢さんを迎え入れることになり、グループの調和が崩壊する。女子中学生の波乱の日々を描いた物語。			
12	914	半分のさつまいも	海老名 香葉子	くもん出版	1997
☆	エ	「その後のかよちゃんは、どうしたの？」名作『うしろの正面だあれ?』の出版後、たくさん感想が届いた。11歳で家族を失い、焼け野原の東京で、今日食べることに必死だった時、通りすがりの人が、サツマイモを半分にしてくださった。名作の続編。			
13	916	トットちゃんとソウくんの戦争	黒柳 徹子 田原 総一郎	講談社	2016
☆	ク	「僕と黒柳さんは、小学校時代がまるまる戦争と重なる。意味がよくわからないまま『玉音放送』を聞いたことや、戦争が大嫌いという点も一緒である。」二人の戦争の体験や考えが詳しく語られている。『徹子の部屋』でゲストが語った戦争体験も貴重。			
14	933	アーチャー・グリーンと魔法図書館の謎	D.D.エヴェレスト 訳/こだま ともこ	あすなろ書房	2015
☆	エ	12歳の誕生日、アーチャー・グリーンのもとに、不思議なプレゼントが届く。巻紙に書かれた奇妙な指示に従って、いとこたちとその謎を解いていく。オックスフォードの図書館で繰り広げられる読み出したら止まらない謎解きファンタジー。			
15	949	ムーミン谷の夏まつり	トーベ・ヤンソン 訳/下村 隆一	講談社	1981
★	ヤ	平和な6月のムーミン谷に、突然押し寄せた大洪水。流れてきた劇場に移り住むことになったムーミン一家は、すっかり劇団員気分。国際アンデルセン賞大賞受賞作家トーベ・ヤンソンがおくる傑作ファンタジー。			